

平峰一貴 / *Kazuki Hiramine*

Date : 2019/05/03,04	Team : KONDO Racing	Driver : 1 st 平峰一貴 2 nd Sacha Fenestras
Class : 300 Class	Car : Nissan GT-R Nismo GT3	Circuit : 富士スピードウェイ

Qualify P1 Condition : Dry

まさかのポールポジションを獲得！

Q1 は Sacha 選手が 2 番手で通過し、GT3 勢の中でもトップをマーク。ここでは、良い意味で僕にプレッシャーが入りましたね。Q1 を終えた後に車のバランス状況を Sacha 選手に確認したところ、とても良い！とのことでしたので、特に車の変更点もなくそのまま自身も Q2 へ。

とにかく、タイヤの熱入れを丁寧かつ積極的に行いました。アタックラップはミスもなく良かったのではと、自身は思っています。クロスラインを通過した時にダッシュボードで目にしたのは 1'35.8 でした。

チームからも「トップだよ!!!」と無線で伝えてもらった瞬間は、ほっとしました。

Race Finished P4 Condition : Heavy Wet & Dry

スタートは平峰が担当。スタート直前で強い雨が降り始め、スリックからレインタイヤに変更しました。スタートが切られてトップを走行していましたが、雨の速いダンロップ 11 号車にオーバーテイクされ 2 番手にポジションダウン。途中、強い雨の影響で赤旗となりましたが、再開してからもなんとかポジションをキープし、Sacha 選手に交代。ライン上だけ乾いているという、難しい状況のなかスリックタイヤでピットアウトしましたが、SGT 初年度とは感じさせぬ走りで 2 番手をキープしていました。しかし、Sacha 選手も後半になるにつれペースが落ちてきたため、予定より早めのピットインを余儀なくされました。

そして最後の Pit Stop を終えて平峰がコースイン。3 番手でコース復帰となりましたが、Sacha 選手のステイントと同様に後半ペースが落ちてしまい、4 位にポジションダウンしてフィニッシュ。惜しくも表彰台を逃してしまいました。

Summary

Super GT Round 2 Fuji も沢山の応援を有難うございました！

今大会は嬉しい事と悔しい事、両方を経験したレースウィークとなりました。

決勝レースでは、惜しくも表彰台を逃す形となってしまいましたが、自分たちがペースダウンしてしまった原因は分かっていますので、次戦に向けて改善していきます。56 号車は新規チームにも関わらず、今回の予選でポールを獲得できたことは、我々に速さがあるという事なのでとてもポジティブでいます。また、レース終了後には ZF 賞も獲得する事が出来、チーム力の高さを証明できています。第 2 戦目にしてポールを獲り、開幕戦から続けてポイントも獲得し続けているので、引き続き速さと強さをチームの皆と共に身に付けていけるように全力で取り組んでいきます。

是非、次戦も応援をよろしくお願いします!!!



